

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

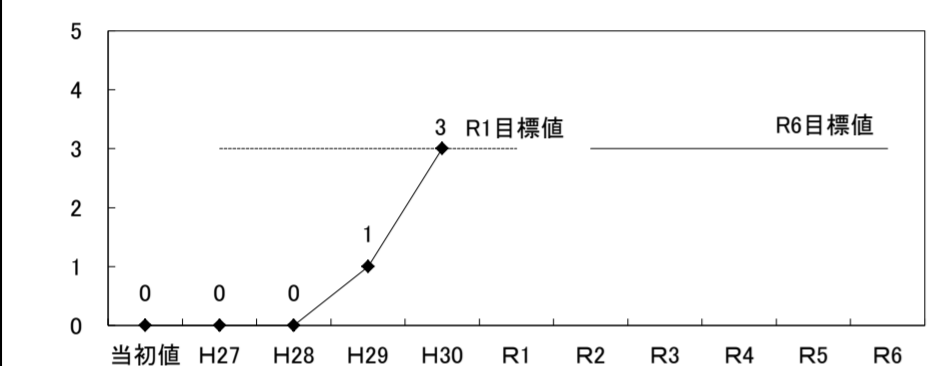
基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	スポーツ推進課	
施策	13	スポーツの推進	評価 責任者	壽 俊行	内線 6400
小施策	13-5	希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の遺産の継承	評価 シート 作成者	吉田 金一	内線 6401

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の遺産(レガシー)を未来に引継ぎ、ラグビーワールドカップ2019™や2020東京オリンピック・パラリンピック開催の機会を捉え、事前キャンプ受け入れなどのホストタウン事業に取り組んでいく必要がある。		スポーツによる交流人口の拡大、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組、広域的な地域スポーツの推進に取り組み、「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」によりもたらされた有形・無形の様々な遺産(レガシー)を確実に未来に引き継ぐ。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民 県内外のスポーツ競技団体		スポーツへの興味、関心を持ち、「する」「見る」「支える」形で参加する。 スポーツツーリズムとして本市に興味を持ち、国際大会、全国大会を開催する。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
指標① 事前合宿・全国大会受け入れ数		単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成果の要因分析
当初値 (H25)	R1目標値	種目	→	問 題 点	⇒	問題の要因分析
0	3			・ホストタウン事業として水球カナダ事前キャンプの受け入れを行った。また、日本代表との合同合宿及びエキシビションマッチを行い、男女の試合合わせて1,864人が来場した。 ・ラグビーワールドカップ2019™において、ナミビアの公認チームキャンプ地に決定した。		・広報もりおかの特集号やチラシ等の配布により、広く市民に周知啓発することができた。 ・ホストタウングッズを始めとしたノベルティ関連の物品を市民に配布することにより、興味関心を引くことができた。 ・充実した施設や環境が評価され、本市が選ばれた。
0	3			・東京2020やラグビーワールドカップ2019™では、選手と市民との交流に関して大会優先のため、時間や場所の関係で交流を希望する市民が参加できない場合がある。		・競技を行う選手のスケジュールにより日程や場所が限定されるため。



今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<p>★ ホストタウン事業を始めとした事前キャンプの受け入れに際し市民交流及び周知啓発の充実を図ることで東京2020やラグビーワールドカップ2019™の感動を共有し、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の遺産(レガシー)を未来へ継承していく。</p>	